岐阜大学附属図書館報
ISSN 0915－8960

寸胴

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN
第15号 1995. 2

目　次

研究と教育の要，大学図書館　中須賀徳行 …… 1
館蔵資料紹介No. 6（特別寄稿）
岐阜大学訪書ノート　松田　清 …… 3
教官推薦図書
『グスコーブドリの伝説』竹内豊英 …… 5
私と山本周五郎「さぶ」　田中静子 …… 5
1995年　購入雑誌変更リスト …… 6
第7回国立大学図書館協議会シンポジウムに参加して
高木　昭 …… 7
図書館員から一言　堀　秀廣 …… 8
藤谷泰子 …… 8
お知らせ …… 8

研究と教育の要，大学図書館

中須賀　徳　行

宴もたけなわとなってみんな夫々に歓談を始めた頃，「中須賀さん，万次郎さんが持ち帰ったウェブスターは今どこに有るんでしょうかね」と，当時国際交流委員長をしておられた菅原先生が声を掛けて来られた。2年半ほど前，スウェーデンのルンド大学の学生に日本語等を教えるサマースクールも無事終わり，その歓送の席でのことである。ウェブスターとはNoah Websterが編集した一連の有名な英語辞典を指している。アメリカに押し切られた徳川幕府が通商条約の批准交換のため使節団を派遣することになり，その護衛として勝海舟を艦長とする咸臨丸が太平洋を渡ったことはよく知られているが，一行の通訳を務めたのは中浜万次郎であった。

時は遡って天保十二年（1841年）の正月，万次郎たち五人は土佐西沖で漁業中しけに会い，無人の鳥島に漂着したところを，ボストンの少し南の捕鯨基地から来ていたジョン・ハウランド号に救助されハワイに預けられた。しかし万次郎一人は船長の郷里ニューヘヴンに同行し，そこで英語や航海術などを習い，捕鯨船に乗って世界の港をあちこちと訪れたのである。海禁を犯したことによる罰を気にしながらも，10年後万次郎はハワイの仲間を誘い，ひめゆりの塔に近い琉球の摩文仁（マブニ）に帰着した。それから琉球・薩摩・長崎・高知での取調べなどを経て，郷里の中浜村に戻るまでに2年足らずの歳月が流れている。しかし困難をおしてペテルブルグから帰還したものの，小石川の薬草園に幽閉された大黒屋光太夫の場合とは違って，時は万次郎の英語力と海外の知識を必要としていた。ペリーの通訳は水戸烈公の反対で潰れたものの，こうして渡米に付き添うことになったのである。サンフランシスコ滞在中に万次郎が福沢諭吉とともにウェブスター辞典を買ったことは，『福翁自伝』からも明らかである。ペリーの土産を別にすれば，日本人が持込んだ最初のウェブスターであろう。その辞書が今どこに有るだろうかというのである。

菅原先生がそのような質問をされたのには訳がある。実は本附属図書館はウェブスター辞典の国内最大のコレクションを持ち，その研究者として先生は導入に尽力されたのである。当時私は本学に赴任してからまだ一年にも満たなかったので，その時初めて知ったような訳であった。酒の席での話も時になかなか貴重なものである。私は国際交流の立場から万次郎のことを多少調べて紀要にも書いたので，菅原先生も見られたのであろう。正確な即答はできなかったが，万次郎関係の本に当たり直して答えはすぐ出た。四代目に当たる中浜博氏が持っておられたのである。幸いなことに，中浜氏は名古屋駅近くの病院に勤めておられたので，ある夏の日先生と一緒に訪れて貴重な品を見せていただいたのであった。ウェブス

ターというと分厚い大部のものを想像するが，万次郎が買ったものは今でいう中辞典クラスのものであった。無論また本学の図書館へも行き，ウェブスター辞典の一大コレクションを見せていただいた。万次郎の辞典以上にぼろぼろになっているものもあり，保存の苦労が偲ばれた。丁度一年前の「寸胴」に，菅原先生が関連する話を書いておられる。

万次郎の漂流は土佐の片田舎でも評判となったが，持ち帰った海外事情が広く流布するにつれては勿論口こみの情報も重要であったけれども，それを文字にした小冊子の存在も無視できない。私が調べたのも田舎の庄屋に残っていた転写の古文書であるが，今流に言うと地下出版物ということになろうか。取調記録の書写しや，万次郎から聞いた話をイラスト入りで本にしたものまである。そのなかでも有名なものに「漂巽紀畧（ヒョウソンキリャク）」という冊子がある。原本は行方不明であるが，中浜家にはその写しが有るのでついでに見せて戴きたいとお願いしたが，銀行に預けてあるとのことでそれは叶わなかった。この原本は河田小龍（ショウリョウ）という土佐の画家が，万次郎から聞いた漂流話や海外事情を得意の絵も入れて編纂し，山内容堂に献呈したものである。孫に当たる宇高随生氏が小龍の娘である母堂から聞いた所によれば，小龍はアメリカの民主主義を伝えたいと願って万次郎の話を塾生に広めたという。近くに住んでいた坂本龍馬が小龍の話に感激し，海援隊のヒントを得たのは確かであり，「船中八策」もそれと無関係ではないであろう。土佐の自由民権運動には色々な側面があるが，民主主義的な思想にとって「漂巽紀畧」などの漂流記も一定の役割を果たしたのではなかろうか。

板垣退助の洋行で自由党は分裂したが，今日から見ても中江兆民とともに最も民衆の立場に立って自由民権を主張し続けた人に馬場辰猪がいる。馬場胡蝶の兄であり，森有礼の日本語廃止・英語公用語論に対して，敢然と母国語を擁護した人でもある。ロンドン大学留学中に万次郎にも会っているが，その徹底した論理は官憲の恐れる所となり，事件をでっち上げられてアメリカへの逃避行を余儀なくされた。私はある日，本学の図書館の集密庫で本を探していたところ，安永梧郎が明治30年（1897年）に著した「馬場辰猪」という大変貴重な本が，ひっそりと他の本に囲まれているのを偶然見つけた。早速お借りして読んだが，リプリントまで出ているこの本が何かの間違いで傷んだり，無くなったりしたら大変だと常々気になっていた。そんなある日梶山図書館長にお会いする機会があって，赴任後間もない私があまり厚かましいお願いをするのも気が引けたが，勇をこしてその不安を申し上げた。そしたら数日後その処理について問合わせがあり，その対応の速さに驚いたものである。こうして今は大事に保存して戴いている。この本をアメリカのある図書館で見つけて感激したという話も読んだことがあるが，研究者にとってこうした蔵書の持つ意味は計り知れない。しかしそのことを身に沁みて感じるようになったのは，岐阜に赴任してきた比較的最近のことである。

それ以前私は実験に携わっていたので，無論先行する業績とか関連するデータとかを調べたりして，文献のお世話にはなっていた。しかしどちらかと言うと，目は常に新刊の方へと向いていた。ところが日本研究といったような文系の仕事になると，古い資料が決定的に重要となってくる。20年ほど前，私がリヨンに滞在していた時，憲法学で有名な名大の長谷川正安教授が当地の古文書館を訪れ，当時リヨンで国民主権の研究をしておられた一橋大の杉原泰雄教授からお話があって夕食を共にしたことがある。その時長谷川先生が，「理系の人にとっては新しいもの程大切だが，文系の人間にとっては古いものほど大切なんですよ。」とおっしゃったのを思い出す。その点で率直に言えば，本学の文系図書は不十分と言わざるを得ない。勿論この「寸胴」の「館蔵資料紹介」にあげられているような珍しいものや，先に挙げたような貴重なものも有るが，例えば「国史大系」といった基本的なものが開架閲覧室に完全には揃っていない。馬場辰猪については偶然貴重な本を一つ見つけたが，万次郎に関しては遂に一冊も見つからなかった。文学にしろ経済学にしろ，周りの同僚はみな同じような悩みを持っている。先日，大江健三郎の小説を探したが，あまり見つかりませんでしたと，ルンドから来ている留学生にこぼされた。

師範学校の伝統を除けば，文系の学問をあまり要請されて来なかった岐阜の歴史に起因することであろうからやむを得なかったとは言え，地域の文化を語るべき今，放置できない問題である。基礎的な文献が欠けていては，研究はおろか教育にも事欠くことになる。しかし研究費がこうも不足しては，個々の研究者は取りあえず自分に必要な本を買うのが精一杯で，全集とか大系とか基本的なものまで揃える余裕もない。そこで過去は過去として，特別予算を獲得するとか，共通性の高い本を衆智を集めて購入するとか，組織的な努力をするべきではないだろうか。その点で館長や図書館委員を初め，図書館のスタッフの方々に期待すること大である。本を探したりする上でスタッフの方々には本当にお世話になっているし，その親切にも頭が下がる思いである。その上でのお願いには気が引けるが，岐阜大学の将来を見据えて是非ともお願いしたいことである。

（なかすか　のりゆき：教養部教授）

館蔵資料紹介 No.6（特別寄稿）

岐阜大学訪書ノート

松田　清

医学部分館の和漢医書

平成五年五月某日，京都で久しぶりに再会した梶山雅史氏はうれしそうに鞄から封筒を取り出した。岐阜大学附属図書館の医学部分館に江戸時代の医書が沢山あることが判明したとのことであり，封筒の中身はその書名リストであった。「これは大したものです。いちど調査させて下さい。」酔眼に映った書名だけから，先のことも考えず，つい叫んでしまった。これほどの蔵書は一体誰のものか，何としても知りたかったのだ。やはり，その後なかなか機会を得ず，実際訪書出来たのは夏の一日だけであった。手帳を見ると，西尾市立図書館の岩瀬文庫で京都の山本読書室旧蔵本を調査した翌日の七月二十九日である。当日は岩瀬文庫で一緒だった遠藤正治先生（現在華陽高校）もお誘いした。昨秋，予期せず本誌への寄稿依頼を受けたが，より詳しく書誌調査を，と思いつつ，とうとうそのまま今に至ってしまった。当時の訪書ノートにより責めをふさぐことにしたい。

調査の結果，医学部分館所蔵の医学関係和漢籍は主として，(1)高山の柚原家旧蔵書，(2)美濃兼山の藤掛家旧蔵書，(3)羽島の柴田寿太郎筆写講義，からなること，いずれも幕末明治期の岐阜県医学史資料として貴重であり，今後さらに研究を深める価値のあることが判明した。故青木一郎氏の調査によると，柚原家の医者としては明和七年（1770）五月記載の「飛騨国書集並医名寄」に柚原三省，柚原理庵，天保十五年（1844），御役人出入医師の月番制を記した記録に，柚原梅春の名がみえる。明治七年に開院した公立高山病院に柚原姓の医員がみられる。明治九年作成の医師名簿（岐阜県立図書館蔵）には柚原格蔵の名が挙がっており，歳三十五，漢洋を兼ね，元治元年正月開業，高山町在住，「安政六年七月ヨリ六ヶ月間，西京大村泰輔」のもとで修業したという。

柚原家旧蔵書

蔵書印，署名，筆跡，帙の状態などにより旧蔵書と判明分のみを掲げる。

1　重訂解体新書　刊
2　医範提綱　弘化二再刻　刊
3　医学通論　刊
4　薬品手引草　刊
5　済世三方　嘉永二　杉田成卿　三冊　写
6　続内科則　チツソツト　新宮凉庭　四冊　写
7　布斂己黴毒論（プレンキばいどくろん）
　上中下三冊　写
8　名医方考
9　医方聚要
10　瘍科方筌　写
11　古方便覧
12　温疫論私評　南豊秋吉先生著　快雪堂蔵板　乾坤
13　痘疹秘録　安永九　和刻「柚原一清」印
14　麻疹精要方　橘尚賢　明和九　刊「梅春」印
15　傷寒訳通　「一清」墨書
16　駆豎先生灌腸則　新宮凉庭訳述
　導屎則　新宮凉庭訳
　古列亜設爾巴斯（コレアモルヒユス）説　勃微爾（ホウイール）著　宇田川榕菴訳　文政五　訳者識　写
　冷徹疫症候并治方　南豊秋吉先生口授　写
　腋診録　南豊秋吉先生　写
17　快雪堂傷寒論抜粋　写
18　快雪堂方府　写
19　快雪堂丸散膏方　写
20　妙薬博物筌　藤井見隆　纂輯　文政六
21　婦人良方大全　二十四巻八冊　宋・陳自明　寛永十三和刻　巻二十四末尾に「柚原氏」「義隆」の墨書および「柚」印
22　快雪堂方剤録抜粋　巻中下　二冊　写　「柚」印
23　蘓茎南鍼　写
24　医方小乗　写　三冊　和田純　「柚原」印
25　南鍼示蒙　写
26　遠西二十四方　坪井信道編輯　天保二序　「柚」印
27　潭思堂方府　写
28　知止斎煉膏一覧　藍涯先生閲　男大村恭謙卿　撰輯　写
29　春林軒膏方一覧　写
30　初学人身窮理　松山棟菴，森下岩楠　合訳　明治九再刻　「柚」印，墨書「柚原氏」
31　医家必読　明・李中梓　貞亨四和刻　十冊「柚原」印
32　類経図翼　八巻七冊　類経附翼　四巻二冊　「柚原」印
33　遠西医方名物考　同補遺　「柚原」印
34　類経　「柚原」印

35　陶節庵家蔵傷寒六書　「柚原」印

藤掛家旧蔵書

1　物理階梯　片山淳吉纂輯　壬申初冬　文部省　愛知県下学校用翻刻　「美濃藤掛氏記」「藤掛蔵書 みの兼山」印
2　診法要略　佐々木師興　青黎閣発兌　江都須原屋伊八　上中二冊　下欠　「藤掛蔵書 みの兼山」印
3　公益本草大成（題簽・和語本草網目）　岡本為竹（一抱子）元禄十一刊　洛陽小佐治半右衛門　「藤掛蔵書 みの兼山」印
4　薬物学（角書・日講紀聞）　明治六序　大阪府病院刊　「美濃藤掛氏記」「藤掛蔵書 みの兼山」印

柴田寿太郎筆写講義録

京都府医学校時代（明治二十五年頃）の講義録と思われる。

（他に未調査分あり）

1　診断学
2　精神病学
3　処方学　鈴木幸三郎・印東玄得　合著
4　骨筋靭帯篇
5　薬物学　小倉閲治　講述
6　外科通論
7　外科各論

附属図書館にて

医学部分館のあと，附属図書館本館へ移動した。まず特別資料庫の集密書架に案内してもらい，一冊一冊丁寧に挿入された真新しい防虫紙に館員の苦労をしのびながら，和漢籍の蔵書印を調べた。短時間ながら，『群書類従』に「立教館図書印」「桑名文庫」「白河文庫」印，『平津館叢書』に「阿波国文庫」印，『資治通鑑』に「野村藩蔵書印」を見出すことができた。立教館は桑名藩の藩校であり，白河藩松平家の蔵書印「白河文庫」は松平定信の子定永が文政六年（1823）奥州白河から桑名に入封したことによるのであろう。「阿波国文庫」は阿波蜂須賀家の蔵書である。野村藩は大垣新田藩が明治二年五月に改名したもので，明治四年七月に野村県となり，同年十一月岐阜県に編入された。ここでの収穫は蔵書印の他に，以前から一度手にしたいと思っていた川上広樹著『足利学校事蹟考』（細川十洲序，明治十三年刊）にめぐり会えたことである。大垣の江馬元齢（活堂）が著した啓蒙書『人身問答』（明治八年刊）もうれしかった。

訪書の楽しみは，未整理本のなかから思いがけない発見をすることである。未整理本を尋ねると，岐阜高等農林学校および岐阜師範学校旧蔵の教科書類が集密書庫に一括収納されているという。薄暗い書架に輝いて見えたのはJ.S.Mill, *Dissertations and Discussions*. London, 1867.の美本で，岐阜高等農林旧蔵書の質の高さを物語っていた。

岐阜師範学校旧蔵書のなかに装丁から一見してフランス書と分かるものがあるので不思議に思い，手にとって開いてみると，「大垣文庫」の蔵書印をもつブレーズ『英国史』第四版Belèze,G., *Histoire d'Angleterre*.Paris, 1869.ではないか。ブレーズの著した教科書叢書『初等教育教程』の一冊で，このシリーズは明治初期に各地の藩校で購入されたものである。これまで高知藩旧蔵の『英国史』『理化学』（高知県立追手前高校蔵），福井藩旧蔵の『理化学』（福井市立図書館蔵）が管見に入っている。大垣藩もやはりそうか。同じ「大垣文庫」印を有する蘭和辞典「ドゥーフ・ハルマ」を大垣市立図書館で見ていたので，幕末の先進藩における蘭学から仏学への流れをここでも確認できた。この大垣本は表紙に「佛書ベリーズ　英国史」と墨書した貼紙がある。赤通しが多数見られ，特にマグナカルタやノルマンコンケストの部分はよく読まれている。acquiescement, abreuvēなど中級レベルの単語に赤通しが付けられているところから，読者は比較的高度なフランス語読解力を身に付けていたと思われる。同じ「大垣文庫」印のあるゴサン『理科入門』Gossin,H.,*Cours élémentaire de physique*. Paris,1867. さらに「野村藩蔵書印」をもつノエル，シャプサル共編『新フランス語辞典』第二版Noël et Chapsal, *Nouveau dictionnaire de la langue française*. Paris,1868. も出てきた。後者はブレーズの教科書とならんで各地でよく見かける辞典である。前者の口絵に見られるスペクトログラムの見事なカラー印刷はこの洋書を手にした明治初期の日本人に，ヨーロッパの高度な印刷技術を認識させたにちがいない。

整理済みの岩田文庫では瑪得瑪第加（マテマチカ）塾蔵版『探賾算法』（剣持章行著，阿波藩士小出脩喜序，天保十一年刊）が印象深かった。瑪得瑪第加塾は幕末明治初期に活躍した和算家で西洋数学を導入した内田五観の数学塾であり，小出脩喜（長十郎）は幕府天文方でラランデ天文書の翻訳に参画した蘭学者である。

わずか一日の訪書であったが，梶山館長と本好きの図書館員のおかげで痛快な消夏の夕べを過ごすことができ，良き思い出となっている。

（まつだ　きよし：京都大学総合人間学部教授）

（各図書の配置場所：特別資料・フィルム庫）

教官推薦図書

教官から，その専門分野を専攻しようとする学生に先ず薦めたい入門書・基本図書，あるいは，より多くの教官・学生に教養書として是非一読を薦めたい図書を紹介していただいています。

『グスコーブドリの伝記』

童話集「風の又三郎」他十八篇より（岩波文庫）

竹内豊英

「雨ニモマケズ」を賢治の詩の代表作とすれば，「グスコーブドリの伝記」は童話の代表作である。病床にて綴られたこの作品は，昭和7年3月（1932年）に発表された。37歳の若さで没する1年半前のことである。

作品の中で，冷害による凶作を恐れた主人公グスコーブドリは，クーボー大博士と「カルボナード火山島が，いま爆発したら，この気候を変えるくらいの炭酸ガスを噴くでしょうか。」「それは僕も計算した。あれがいま爆発すれば，・・・下層の空気や地表からの熱の放散を防ぎ，地球全体を平均で五度ぐらい暖かくするだろうと思う」の会話をやりとりしている。結局，ブドリは自ら犠牲となって火山を人工爆発させ，人々を凶作から救おうとする。ブドリは賢治の理想の人を描いたもので，主人公から賢治の生き様が伝わってくる。

賢治は少年時代に世の無常と仏の慈悲との深い感情を植えつけられ，18歳のときに妙法蓮華経を読んで感激し，以後座右に置いて読誦していたと聞く。また，盛岡高等農林学校農科第2部に入学し，農芸化学を専攻している。詩人として長けていただけでなく，宗教家，社会運動家，また専門の農業技師としての資質も備えており，それら4つの次元が賢治の作品の中から滲み出てくる。賢治にとって自然科学は単なる知識ではなく，自然体験の中で咀嚼され，活きているようである。その姿勢には感心するばかりである。

昨年の夏の猛暑は記憶に新しいところである。これがいわゆる地球温暖化の兆しであるのか否かは定かではないが，マスコミが取り上げるごく最近まで，多くの人が二酸化炭素が温室効果をもつことに無関心であったと思う。地球温暖化に限らず，他にも多くの自然体験の中で自然科学の知識が有効に活かされていないのではないかと危ぶまれる。賢治のこの作品は自然科学を志す者に大事なフィロソフィーを示しているように思えてならない。

（たけうち　とよひで：工学部助教授）

（配置場所：3階特別閲覧室913.8Miy）

私と山本周五郎「さぶ」

田中静子

私が山本周五郎作品に初めて出会ったのは，確か昭和30年代の中頃から後半ではなかったかと思います。当時日経新聞に連載中の「樅の木は残った」を途中から興味をもって読み始めたような気がします。

その頃社会人としてスタートしたばかりの私は，「人生如何に，生くべきか」と言う大命題に思い悩んでいたのでした。今から思うと，何だか吹き出しそうな気がするのですが，その当時としては，大真面目に考えていたのす。

「虚空遍歴」「ながい坂」など一連の作品の中には理解しにくいものもあり，どちらかと言えば下町の職人や，貧しい人達を描いた市井ものと言われる短篇小説に私は魅せられていきました。

江戸下町の庶民社会を背景に，老舗の経師屋で働く若い職人仲間，栄二　と　さぶ　その周囲の人々との感動的な愛と友情の物語である。利発で男前で目先の効く栄二，くずでのろまだが誠実な，さぶ　順調に幸せな将来が待っていると思われた矢先，突然無実の罪をきせられて，石川島の人足寄場に送り込まれてしまう栄二，自分を陥れた人達に復讐を誓い，世の中にも反発して，自暴自棄に落ち込む月日。しかし寄場での歳月は栄二の心を変えていった。人は，周りの人々との心のつながりや助け合うことの大切さ，人は一人では生きられない，人間にとって何が真実であるか，など栄二は思い知らされるのである。今まで自分と関わり合いの無い人だと思っていた人達さえも自分を助けてくれた。氷のように冷え固まった栄二の心もしだいに解けていくのである。

他人と自分とをいかに区別するか，いかに競争に打ち勝つかという現代社会においては，これら山本周五郎作品はより必要性を増大させてきたのではないだろうか。

（たなか　しずこ：医療技術短期大学部助教授）

（配置場所：集密4　918.68Yam）

1995年　購入雑誌変更リスト

〈新規購入雑誌〉

誌　名	配架
家計調査報告	教家政
銀色世界	養中語
計測自動制御学会論文集	図情報
月刊国語教育	教国文
月刊国民生活	教家政
月刊消費者	教家政
月刊しにか	養中語
研究部報（日本体操協会）	教体育
現代思想	教哲学
公正取引（公正取引研究委員会）	教家政
国民生活研究	教家政
システム制御情報学会論文誌	図情報
思想（岩波書店）	養独語
授業研究21	教教育
食品衛生研究	農流通
消費者情報	教家政
生活科授業研究	教教育
生協運動	農流通
精神科看護	医　短
たしかな目	教家政
統計（日本統計協会）	教家政
日経サイエンス	養物理
燃焼の科学と技術	工機械
物価統計月報：小売価格資料編	教家政
物価統計月報：消費者物価指数編	教家政
平和経済（平和経済計画会議）	教法経
養護学校の教育と展望	図教育
留学交流	国際交
老年精神医学雑誌	医短松
New 教育とマイコン	教ＣＲ
Applied scientific research	図理工
Journal of the royal statistical society. series C:applied statistics	工情報
Berichte zur deutschen landeskunde	教地理
British journal of clinical pharmacology	医薬理
Computational mechanics advances	図土木
Computer aided geometric design	工情報
Consumer reports	教家政
Consumer's research magazine	教家政
Current contents;Agriculture,biology, & enviromental…	流環研
Current contents diskette;Agriculture,biology,& …	流環研
Current mathematical publications	工機械
English literary renaissance	養英語
Environmental health perspectives	医分館
Infant mental health journal	教心理
International journal of fatigue	図機精
International statistical review	工情報
Japan times	国際交
Journal of autism and developmental disorders	図教育
Journal of autism and developmental disorders	教心理
Journal of chemical vapor deposition	工応化
Journal of combinatorial designs	工情報
Journal of computational and graphical statistics	工情報
Journal of consumer policy	教家政
Journal contents in quantitative methods	工情報
Journal of flow visualization and image processing	図土木
Journal of gastroenterology	医分館
Journal of quantitative anthopology	養人類
Journal of range management	流環研
Journal of semantics	養英語
Linear algebra and its applications	工情報
MIN:Minimally invasive surgery	医分館
Molecular medicine	医分子
Molecular microbiology	農家微
Naunyn-schmiedeberg's archives of pharmacology	医薬理
Natural language semantics	養英語
Optical materials	養物理
Optical review	養物理
Pediatric exercise science	教体育
Presence	工情報
Raumforschung und raumordnung	教地理
Regional studies	教地理
Retina	医眼科
SIAM review	工情報
Statistics & probability letters	工情報
Transactions of the institute of british geograhers	教地理
Transport policy	図土木
Veterinary dermatology	農病院
Which?	教家政
Zillions	教家政

〈購入中止雑誌〉

誌　名	配架
看護展望	医短保
季刊日本思想史	教法経
季刊肥料	図化学
切り抜き速報：社会科版	養日語
経済統計月報	教法経
月刊トレーニングジャーナル	医短保
現代化学	医　短
史学雑誌	教法経
思想	教法経
スキージャーナル	医短保
生物物理	教生物
電気学会研究会資料：放電	工有馬
電子顕微鏡（日本電子顕微鏡学会）	医皮膚
都市問題	教法経
日経パソコン	医　短
日本史研究	教法経
日本歴史	教法経
法学セミナー	医　短
用水と廃水	図化学

誌名	配架
レヴァイアサン	教法経
PPM	図化学
Acta veterinaria hungarica	図畜産
Agricultural systems	農農営
Archives internationales de pharmacodynamie et…	医薬理
Arzneimittel-forshung	医薬理
Biometrika	工共通
Biopolymers	図繊維
Brno studies in english	養英語
Cell structure and function (JPN)	医皮膚
Dermatologische monatsscrift	医皮膚
Ecological modelling	流環研
Experimental astronomy	工共通
Forest products journal	教技職
Gastroenterologia japonica	医分館
Grass and forage science	図農学
Hautarzt	医皮膚
IEEE journal of quantum electronics	養物理
Japanese journal of sports science	医短保
Journal of applied polymer sceince, with symposiumu	図繊維
Journal of clinical pharmacology	医薬理
Journal of coatings technology	教技職
Journal of computational physics	工共通
Journal of environmental science and health. Part A	医分館
Journal of environmental science and health. Part B	医分館
Journal of neuroscience	医分館
Journal of visual impairment and blindness	教治療
Mathematical reviews	図二次
Neurochiruragia	医分館
New beacon	教治療
Pharmacology	医薬理
Pharmacology and toxicology, with supplements	医薬理
Physics-Uspekhi	工共通
Plant and cell physiology	農細工
Plasmid	医嫌気性菌
Polymer.Including polymer communications	図繊維
Protoplasma	教生物
Quarterly journal of the royal meteorological society	教地理
Prague bulletin of mathematical linguistics	養英語
Reviews of modern physics	工共通
Sports medicine	医短保体
Studies in applied mathematics	工共通
Tellus: A	教地理
Tellus: B	教地理
Tropical diseases bulletin	医寄生
Ultrastructual pathology	医皮膚

〈廃刊による中止雑誌〉

経済	教法経, 農農経, 養経済
芸能	教音楽
Engineering	図理工

第7回国立大学図書館協議会シンポジウムに参加して

高木　昭

今回のシンポジウムは「ネットワークと図書館情報～利用者の期待にどのように応えるか～」というテーマで，西地区は平成6年11月10日～11日にかけて岡山大学にて，東地区は平成6年12月7日～8日にかけて東北大学にて開催されました。

私が参加した西地区では，44大学から50名の図書館関係者が参加していました。

第1日目は，岡山大学附属図書館長好並隆司氏の開会挨拶の後，平成6年5月に国立大学図書館協議会から出された「次期電算化システム専門委員会第1年次報告」をもとに，これからの大学図書館に課せられた情報サービス・次期業務システムについて図書館情報大学助教授永田治樹氏により基調報告がされました。

次に，「ネットワークを利用した図書館サービス及び業務」というサブテーマにより，徳島大学から「OPAC上に展開するマルチ情報サービスの試み」，長崎大学から「UNIX版CD-ROMのネットワークによる検索」の2件のマルチメディアを用いた情報サービスの事例報告がありました。続いて，学術情報センターの濟賀宣昭システム管理課長より「学術研究情報ネットワークの現状と新たな展開」と題して，平成6年9月より学術情報センターが運用している最新の通信方式であるATM 方式（非同期転送モード）によるネットワークシステムについて特別講演が行われました。

第2日目は，「図書館情報システムのワークステーション化～その展望と課題～」のサブテーマにより，高知大学から「XUIPを利用しての電算システム更新について」，大阪大学から「電子計算機環境の変化と大学図書館」，九州大学から「オープンシステムへの移行に向けて」の次期業務システムに対する3つの事例報告が行われました。その後，全体討議に入り，ネットワークシステムや次期電算システムについての活発な意見交換が行われました。

今回のシンポジウムのテーマである「ネットワークと図書館情報」という問題については，本学図書館においても，学内LANを用いた，OPACサービスや平成6年5月より開始したUNIX版ファイルサーバー（上記長崎大学と同じシステム）によるMEDLINE 検索サービスなどを行っていますが，平成7年度には，図書館電算機システムの更新も行われますので，今回の経験を生かしていきたいと思います。

（たかぎ　あきら：情報管理課目録情報係長）

図書館員から一言

堀　秀廣

昨年４月の人事異動で，総務係に配置換になり，会計事務を担当しています。

図書館に勤務して，図書の受入れから目録の作成に至るまでの手順，電算機による自動貸出し・返却業務，ネットワークによる情報検索等の図書館独自の業務を知り，今まで一度も利用しなかった大学図書館が，大変身近に感じられるようになりました。ただ，日常の業務につきましては，他の学部にはない特殊な事項もありますので，その都度ない知恵を絞り，四苦八苦しております。

（ほり　ひでひろ：情報管理課総務主任）

藤谷泰子

私は資料受入係で和雑誌の受入をしています。それまでは図書館というのは借りる側で，棚に並べてある本を何気なく手に取っていました。その本には図書館のラベルや印が付いているのは知っていましたが，その手間がどんなものか考えもみませんでした。

今，私自身が１冊ずつその手間をかけています。するとそれぞれの本に愛着がわいてきました。

仕事はまだまだ至らないですが，大切な本を多くの人に読んでもらえるよう，努力したいと思います。

（ふじたに　やすこ：情報管理課資料受入係）

お　知　ら　せ

学内LAN とOPACの接続について

研究室からのOPAC利用は，学内LANの整備に伴い従来のモデム接続より容易にできるようになりました。OPAC（Online Public Access Catalog）接続方法は，先ずデータベースがある情報処理センターのホストコンピュータへの接続が必要です。ホストコンピュータのIPアドレス（telnet gifudai或はtelnet 133.66.11.20）に接続し，ユーザIDとパスワードを入力してください。接続後“READY”の表示を確認してから“OPAC”と入力してください。後は，画面の指示に従って入力していけば検索画面に遷移します。利用の際には，ホストコンピュータのユーザID及びパスワードが必要ですので，取得していない方は岐阜大学情報処理センターへ申請してください。検索方法は，岐阜大学附属図書館報No.7(1992)をご覧ください。

・文献複写申込は所蔵の有無を確認してから！

図書館では，利用者からの文献複写申し込みに基づき所蔵している国立大学等から文献を取り寄せるサービスを行っていることは既に御承知の通りです。ここ数年来，文献入手の申し込み件数は急増傾向にあります。ところが，本学に所蔵しているにも拘らず申し込みをするケースが目立ってきており，文献の迅速な入手に対する大きな妨げとなっています。申し込みの際は，**本学の所蔵をOPAC等で十分調査・確認してから**申し込み願います。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第15号　1995年２月28日
編　集　委員長：梶山雅史　委員：小川克正，吉見直己，山口七郎，森　生也，小林かず子
上口正昭
発　行　岐阜大学附属図書館
〒501－11 岐阜市柳戸１番１　☎058－230－1111